

問 城の子公園の周辺整備を問う

答 着実に事業を進める

松井 甫 議員

問 城の子公園は城下地区の中心部に位置し、老人から幼児に至るまで、誰もが気軽に利用できる、親しみのある近隣公園として整備されたものです。今では多くの利用客で毎日賑わっています。

それでは次のことについて、個々具体的に伺います。まず、市道御名段線拡幅未改良区間の整備はいつか、次に千本屋金谷線道路の路面改良の早期実施を問う。次に金谷北交差点の改良整備を急ぐ必要があるが、最後に公園の遊具定期点検は確実に行われているか。

市長 城の子公園東側に隣接の市道御名段線整備計画は実施計画を基に早期着手に向け取り進む。次に市道千本屋金谷線は本年度全面舗装復旧を計画しており、全体的に平坦性に欠けている路線でもあり、延長約350mの区間実施します。次に金谷交差点より南の未整備区間850mは整備を計画しており、本年度は交差点周辺より拡幅を実施し、今後継続事業として早期完成を図ります。

土木部長 公園の遊具は定期的に実施をして、安全点検及び安全確保に努めています。

問 小学校での英語必修化への対応について

答 推進指導者を養成中

岸本 義明 議員

問 新政権は教育改革を重要課題とするとされている。小学校高学年から平均週一回英語必修化案に対してどんな対応を考えているのか。全小学校で均一レベルの英語授業ができるのか。

教育長 教員免許更新制度導入の動きに対して教育長の考えは、

教育研 修所で約20名の教師が推進指導者になるべく勉強しているが、市内の教師で英語免許の所持者が少なく、人材の確保が課題だ。免許更新制度については研究不十分だが、時代の流れかなという思いを持っていて、研修所を十分活用したい。

問 全国にはいろんな特色を持った学校を育てている自治体が増えている。宍粟と聞いただけで、特色ある教育をしている市でその学校に通わせたいと他市の親がうらやむような、地元の親も満足し誇りに思うような、そんな特色ある教育を目指してほしいと考えるが、特色ある独自の取り組みとしてどんなことをしているのか、また教育バウチャー制度導入も視野に将来的に何か構想を持っているのか。

教育長 体験学習とか国際交流等を行う一方で、学校規模の適正化を考え特区も視野に入れ、例えば小中一貫教育の検討も考えていきたい。

問 デジタル放送の受信は

答 準備検討中です

秋田 裕三 議員

問 2011年7月24日にアナログ放送が終わり、その後デジタル放送になりますが山間地での共同受信設備の見通しについてお伺いします。

市長 電波法の改正によりデジタル波に移行します。宍粟市では多くの共聴組合があり、地域情報化計画につきまして市内の高速インターネット網の整備を実施するとともに市民の皆様には防災行政情報を伝達するシステムを構築し、テレビ難視聴区域にデジタル放送が受信できるように環境整備を行う方向で考えています。

問 デジタル放送が受信できないよう環境整備を行う方向で考えています。

教育次長 償却年数はPC、サーバー、周辺機器を5年で見ている。ソフトは当初のものでやっているが互換性に支障は出ていません。

問 税滞納問題で本年6月から8月までの改善進捗率は、

総務部長 6〜8月の収納率は2.7%向上し累計で28.8% 総額164,813,000円です。